



自ら人とつながり、共に考え、挑戦しよう。

先日、オランダのハーグで行われた「国際子ども平和賞」の授賞式で、若者の政治や社会参加に向けた先駆的な活動を行っているとして、46か国175人以上の候補者の中から、大阪のインターナショナルスクールに通う、17歳の**川崎レナさん**が選ばれ受賞しました。この賞は、子どもの権利擁護のための優れた活動をしている若者に贈られる賞で、過去にはマララ・ユサフザイさんやグレタ・トゥーンベリさんが受賞しており、日本人で受賞するのは川崎レナさんが初めてだそうです。レナさんは8歳の時に読んだ本で、国の政治的事情で教育を受けることができない子どもたちが世界にはたくさんいることを知り、この状況を改善するために**行動を起こす**ことを決意します。彼女は14歳の若さでアース・ガーディアンズ・ジャパンというNGO団体を立ち上げ、若者と政治家がオンラインで意見を言い合えるシステムをつくりました。日本の子供たちが、もっと政治や自分たちの将来に影響を与える政策の決定に**積極的に参加**できるように活動しています。

(NHKニュースのサイト

<https://www3.nhk.or.jp/news/easy/k10013892271000/k10013892271000.html>)

栄えある賞を受賞した川崎レナさんは、次のように述べています。「今回この賞をいただけたことは、日本の若者にとって重要な兆しだと感じています。世界という舞台上、日本の若者の声が重要視されていることが浮き彫りとなりました。一人一人の声が届き、その価値が認められるまで、戦い続ける大きな力を与えてくれます。」どうすれば、このようにはっきりと自分の考えを主張し、世界の注目を浴びるような凄いスピーチができるようになるのでしょうか。彼女の生き立ちを見ると、**自ら行動し、いろいろな人と触れたりつながったりしながら、体験を通して肌で感じ取って考え、挑戦する**、そういった姿勢が今の彼女を形づくっていると感じます。もちろん机に向かって一生懸命勉強することも大事ですが、実際に自分から動いて、体験しながら世界について学ぶことで培った力は、まさに生きる力となります。

また、彼女は授賞式でのスピーチで「議会中の居眠りなどを繰り返す様子が日々放送されています。市民の声を最初から聞いてくれないように見える日本の政治に、誰が協力しようとするのでしょうか。」「政治家になる前にかっこいい大人になって下さい。私たちに子どもらしく夢を持たせて下さい。私たち日本の子どもは皆が理想とする、かっこいい日本になってくれるのをずっと待っています。私たちはいつまで待てばいいのでしょうか。」と訴えました。胸をぎゅーとつかまれたような苦しい気持ちになりました。未来を拓く若者たちが生きる力を身に付けられるように、まず、我々大人がしっかりとしなければならぬ、心からそう思いました。産業構造の変化やITの発達による社会の変化により、子供たちが自分の将来を考えるのに役立つ理想となる大人のモデルが見付けにくくなっているといわれます。また、新型コロナウイルス感染症の流行や紛争等の世界情勢により、自らの将来に向けて希望あふれる夢を描くことも容易ではなくなっているといわれます。そういう中でも、しっかり大人が模範を示し、子供たちに向き合うこと、生きる力を培う成長を支えることが大事だと思いました。

成長とは、自分でできることを一つ一つ増やしていくこと。ボタン一つで済む便利な世の中になることで、人間が生まれながらにして持っている、自分の体を動かしてつくる力や新しいものを生み出す力を失ってしまうのはもったいないことです。たとえ時間はかかっても、自分の力でできることに価値を見出し、生き抜く力を培ってほしいと思います。皆さんも、川崎レナさんの姿に触発されて、自分を信じているんなことに挑戦をしてほしいと思います。

12月の主な行事

「SC来校」はスクールカウンセラーが来校する日です。

日	曜	行事	日	曜	行事	日	曜	行事
1	木	花いっぱい活動〔3年〕 後期生徒総会〔6校時〕	11	日	週休日	21	水	
2	金	花いっぱい活動〔2年〕	12	月		22	木	
3	土	週休日	13	火		23	金	終業式・大掃除
4	日	週休日	14	水	市SC来校(終日)	24	土	週休日
5	月	芸術鑑賞教室〔1・2年は3・4 校時、3年は5・6校時〕 C校時	15	木	生徒会学校専門部会(放課後)	25	日	週休日
6	火	職員会議(授業は5校時まで) 学校納金日〔1年〕 B校時	16	金	県SC来校(午後)	26	月	
7	水	1、2年学年・学級PTA 学校納金日〔2年〕 市SC来校(終日)	17	土	週休日	27	火	
8	木	学校納金日〔3年〕	18	日	週休日	28	水	仕事納め
9	金	2年修学旅行〔第2日目〕 1年宿泊学習〔第2日目〕 市SC来校(終日)	19	月		29	木	年末休暇
10	土	土曜授業 校内学級対抗駅伝競走大会	20	火	市SC来校(終日)	30	金	年末休暇
						31	土	年末休暇

令和4年度鹿児島市音楽会に3年2組が出演しました。

令和4年11月11日(金)に、川商ホール(鹿児島市民文化ホール)で行われた市の音楽会に、校内合唱コンクールで3年部最優秀賞を受賞した3年2組が出演し、合唱コンクールの時よりもさらに磨きがかかった演奏を披露しました。演奏曲目の「時を越えて」は、東京都の小学校、中学校で音楽の教師として勤務されながら作曲

活動を続けておられる、
梅野知子(とがのともこ)さんが作詞・作曲されています。学校現場で教えていらっしゃることから生徒の心をよくつかんでいて、生徒が自分の言葉として歌い込める名曲となっています。

3年2組は、歌詞に自分の思いをのせながら、指揮者、ピアニスト、歌い手が一体となり、曲の構成や強弱の変化を生かした素晴らしいハーモニーで感動の響きをホール中に満たしてくれました。今後もクラスソングとして卒業まで歌い込んでほしいと思いました。



男女で県大会出場、力の限り走りました。鹿児島県中学校駅伝競走大会。

令和4年11月10日（木）に、指宿市宮陸上競技場周辺で、鹿児島県中学校駅伝競走大会が開催されました。今年も、鹿児島市郡大会で、男女とも入賞し、県大会へと駒を進めました。あいにく、2年生の修学旅行と重なり、2年生は出場することができませんでしたが、男子、女子とも市郡大会よりも好タイムで力走してたすきをつなぎました。男子は6区20kmを1時間06分38秒のタイムで、39チーム中16位、女子は5区12kmを44分57秒のタイムで、39チーム中19位でした。

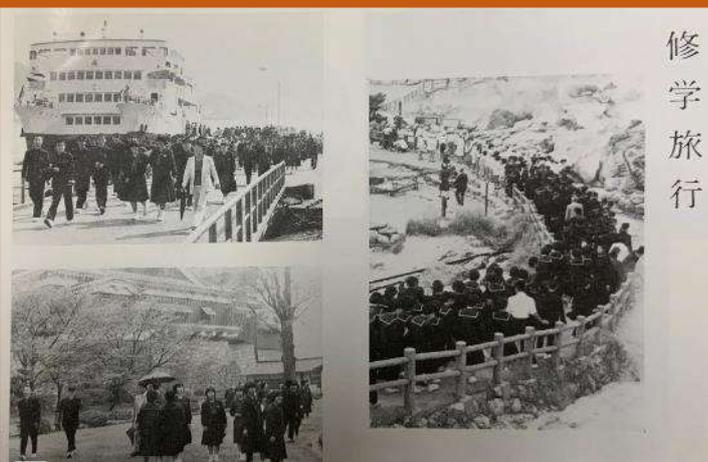


先頭集団で、区間5位の健闘を見せた財部青生さん



区間9位の走りを見せた宮原佐来さん

40年の歩み ある日の風景 「修学旅行」

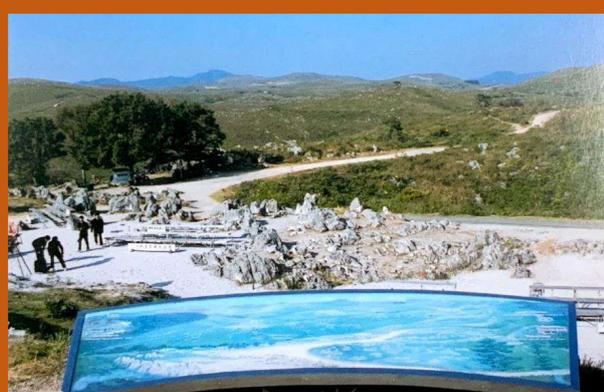


開校当時、昭和50年代の定番は、長崎～熊本

修学旅行



その後、自主研修やテーブルマナー研修も



山口県や広島県まで行った年もあります。



おや？マスク姿。新型インフルエンザ？風疹？以前にも大変な年がありましたね。